10. 30　武蔵野市政について学ぶつどい

「市民が主役」の市政を前へ――日本共産党市議団の役割と値打ち

日本共産党武蔵野市議団は、松下玲子市長と力を合わせて、１８歳までの医療費完全無償化、保育園の待機児童ゼロ、新型コロナのＰＣＲ検査体制の充実、中小零細事業者への支援、物価高騰が及ぼす学校給食・福祉施設などへの影響を軽減する支援策、国保税の子ども均等割軽減などを実現してきました。

自民党や一部の右翼的勢力の市政攻撃と妨害を打ち破り、「市民が主役」の市政を前へ進めるために、武蔵野市政の現状とこれから、日本共産党市議団の役割と値打ちについて、学ぶつどいを行います。ぜひ、お誘い合わせてご参加ください。

日時　**１０月３０日（日）**
午後２時～４時

会場　**武蔵野スイングホール１０階**
スカイルーム１～３（全室）

武蔵境駅北口徒歩2分

【報告】

日本共産党武蔵野市議団

本間まさよ
市議会議員

橋本しげき
市議会議員

【ごあいさつ】

三島杉子
党武蔵野子ども・教育相談室長
市議予定候補

主催　日本共産党武蔵野市議団
日本共産党武蔵野市委員会

武蔵野民報

日本共産党武蔵野三鷹地区委員会の見解についてお知らせします。

２０２２年９・１０月号外　発行人　岡崎万寿秀

連絡先　53-1611　FAX　53-3317